

## 50代女性 『生まれたくなかった』意識から『苦難はありがたいものだった』と感謝が溢れたインナーチャイルド癒しのケース

埼玉川越インナーチャイルドセンター松岡真奈美

ご紹介するクライアントさんは50代女性。

2023年6月、50歳の時に体調不良をきっかけに子宮頸がんが見つかりました。ステージ3、医師との相談のもと、子宮、卵巣を全摘出、周りのリンパ節も60個切除しました。

それから抗がん剤治療、放射線治療を受けましたが、長年ホメオパシーを使っていたため、ZENホメオパシーの考えに立ち返り、『自分でこの癌を作ったのだから自分で治す』と初期の段階で決意。ホメオパシー、インナーチャイルド癒し、波動調整、麴生活などに改めて取り組むことにしました。

体調を取り戻すことに専念された甲斐あって、不調が徐々に落ち着いてくるようになり体力のない日々を乗り越え、好きなことにもチャレンジできるまで回復しました。

ところが、体が落ち着いた途端、感情が一気に噴き出てきたそうです。

- ・年頃の娘を見ていると原因のわからない激しい怒りや嫉妬が湧く
- ・過去の自分を振り返ると整理できない絶望的な感情がある
- ・ヒステリックな母とひ弱で頼りない父を通して出てくるインナーチャイルド

そこで、2024年4月、受けている健康相談会と併用してインナーチャイルドをじっくり癒したいとインナーチャイルドセッションにお越しくださいました。

### 【主訴】

女性性の否定と自己否定感

### 【タイムライン】

出生から	喘息、頭痛、貧血、不登校、引きこもり
22～23歳	繰り返す自殺未遂
29歳	長女出産
30歳	次女出産
50歳	子宮頸がんにより子宮卵巣摘出リンパ節切除 娘の交際関係に嫉妬と怒り 夫への罵倒

### 【初回相談2024.4.30】

状況：

長女さんの交際関係を見ることから激しい怒りや嫉妬、絶望の感情が噴き出し苦しんでおられました。

対応：

それらの感情の大元を対話をしながら探りました。

結果：

幸せな恋愛関係を築いてほしいと心から望みながらも、徐々に相手の男性に対して否定的な思いを募らせ、長女さんに対しても激しく否定してしまうことが過去の自分の恋愛体験と重ねていることから来ていることが分かりました。

セラピー：

これまでの異性との交際関係の中で感じてきた感情、その奥にある父や母との関係を見ていさ少しずつ感情を流しました。

セラピー結果：

電車の中でも家の中でも所構わず激しい暴力をされてきた交際関係や、自身もまるでヤクザのように男性を罵倒してしまう（頭に足を乗せて謝らせたい、罵詈雑言など）傾向を振り返り、

- ・女性としての喜びがなかった
- ・本当は愛されたかった

など素直な本音に気づいていきました。

『この癒しをしたかった、これをやらずに死ねないと心から感じた』

と、最も癒したいところが見つかりました。

## 【相談会 2 回目 2 0 2 4.5.2 9】

経過：

- ・長女への嫉妬がおさまリ関係改善
- ・次女と相手の男性に対して怒りが出て怒鳴り散らし罵倒する
- ・涙とともに抑えていた感情や父への怒りが噴き出てくる
- ・この世に生きているのが辛い、ひとりぼっちで悲しい
- ・『生まれたくなかった』感情が出る

セラピー：

居場所が欲しくて暴力をする相手に依存していたインチャ癒しを中心に、タイムラインからクライアントさんに合う霊的見解をもとに言葉のレメディーを選び交えながら、水のレメディーもご紹介ながらセラピーを行いました。

〈子宮卵巣の問題〉

霊的見解：女性性を頭の理解ではなく心から魂から女性として大切に思っていない

〈子宮が病気になる感情〉

怒り 80% 悲しみ 20%

女性性が否定される環境などで、女性として価値がないと考えた時、相手を責める

※卵巣の場合は自分を責める

〈ガンの霊的見解〉

大事にされない、愛されない恐れ、粗末に扱われる、価値を認めてもらえない  
頑張っても望む状態にならない恐れ、頑張れば評価されるはず

〈喘息の霊的見解〉

親から勝ちを認めてもらえない意識、不満が大きい親に伝えられない又は聞いてもらえない場  
合に喘息になりやすい

〈水のレメディアー〉

- ・ Inomur-w. 猪群山ストーンサークル：どのように扱われてもそれを許すことで男性から自立
- ・ Ceru-Can-V 子宮頸がんワクチンレメディアー：男尊女卑など世の中の理不尽さを許せない
- ・ BCG ワクチン：無関心、見て見ぬ振り、自分は存在してはならない意識
- ・ Infl-V インフルワクチンレメディアー：自分は愛されない、愛される価値ないという意識が緩む
- ・ Yui0000A6c：差別するな、コントロールするな、お前らに負けないぞ！という意識

結果：

- ・ 『その時の自分が可哀想。頑張って生き延びようとしていた』
- ・ 『娘の気持ちが今はすごくわかる』
- ・ 『人生で自分を理解してくれる人を必死になって探して生きていた』
- ・ 『人から見ると気狂いに見えていたと思う』
- ・ 『頑張って生きていた自分を否定できない、よく生きていた』

【相談会 3 回目 2024.6.12】

経過：全体的におだやかになりました。

- ・ 次女と男性への怒りが減る
- ・ 感情の奥にあった母への怒りが溢れてくる
- ・ 憎しみを感じていいと思えるようになる
- ・ 父への許しが出ると共に夫へ感謝が出てくる

セラピー：

母に、「あなたは妊娠中お腹蹴ったり言うことをきかない子だった、これ以上困らせないで」と  
言われて以来、母の言うことを聞くように怒りがあっても抑え生きてきた苦しみをみつめ直し癒  
しました。

また、水子さんに対して自分が生まれて申し訳ないという気持ちを癒しました。

結果：

母に対する感情が怒りから理解する方向へと変化し、水子さんに対しても満足している（自分は  
生きていていい）と思えるようになりました。

【相談会 4 回目 2024.7.31】

経過：

- ・よく眠れるようになる
- ・体調が良くなって動けることが増え、嬉しくて過活動になった
- ・過去の自分を取り戻したくて、どうしても自分以上にやりたくなる
- ・手術前からあった痺れが戻った
- ・便秘からの不調で緊急搬送になった

セラピー：

過活動になる背景を探り、体調が悪い自分への責める気持ちや不調になる自責、理想の自分ではないダメな自分を見つめ癒しました。

セラピーの最中、『母への怒りが最後出しきれない』と止まってしまったクライアントさんに、表情や仕草、匂いなど感覚で捉えているものも出していくようアドバイスさせていただきました。

結果：

『母の目つきがずっと怖かった』と奥深くにまわりついていた恐れと怒りが出てきて、出し切ったところで突然、涙が溢れ、

『母の怖い表情も姿も浮かばなくなりました』  
 『自分が悪いと見えたのはこの世的価値観だった』  
 『霊的な価値観で見れば母は私に自分を生きることを教えてくれていた尊い人だった』  
 『魂の成長をするために生まれてきたんだ』  
 『母が仏に見えてくる』  
 『自分だけはこんな気持ちになれることは絶対ないと思っていた』

と泣き崩れ、

『本当はお母さんのことが大好きだった』と気づかれていました。

このことは、女性性の否定を和らげるものであり、また自己肯定感を高めた癒しでもあると思ひ、その気持ちをそのままお母様に伝えられることをお勧めしました。

—ご本人ご希望によりセッション終了—

後日経過のお便りをいただきました。

認知症のお母様に会いに行ってお花を渡し、「お母さん、生んでくれてありがとう」とお手紙で伝えられたそうです。お母様は何度読んでもすぐに忘れてしまったそうですが、それでもこの家族で良かったと感謝が溢れたそうです。

ご家族との関係も大きく改善。ストレスに感じることも感情に飲み込まれることが減り、霊的な生き方を望んでいたご自身の深い思いに気づいたことで感謝が増え、生きるのがとても楽になり軽くなったそうです。

□一部ご紹介

最後のセラピーで一気に自分を超えて行けという実感が湧き号泣しました。

セラピー後は感情を感じ切り共感していくと今神様に生かされてるなとありがたいなと自然と湧いてきました。

自分が死ぬまでにしたかったインチャ癒しが目に見えて前進出来て嬉しいです。

真奈美さんありがとうございます。

母と実家で撮った写真です、ツーショットなんて私の最後の記憶は中学生の時、嫌々撮られた以来かもしれません。

癒す前なら到底一緒に写真なんて思いつかなかった事でしたが、すんなりといいね一撮ろうよと思えました！

## 【考察】

このケースでは、癌を煩い進行が怖くて死にたくない思いで摘出手術をしたものの、クライアントさんの癌を作った根本原因である女性性の否定や自己否定感が残っていたままだったことを術後も体と心が教えてくれたことがわかります。

また、そのことを真摯に受けとめ癒しに取り組まれたことでクライアントさんは快方に向かわれましたが、経過途中で自分以上になって何かをしようとしてしまうインチャが出てきたこと、その時に搬送などの不調を体験されたことは、由井名誉会長がインナーチャイルドの特徴としてとても重要視しておられるプライドインチャの出現の具体例として、人の心の傾向がよくわかるものだと言えると思います。

プライドインチャについては、ダメだと思う自分を消し去りたい、ダメな自分ではない出来る自分、賞賛される自分になりたいという欲求からインチャが現れ、その裏にはそれほど自分をダメだと思っているインチャがいる、その自分こそ救わなくてはならないという教えがあります。

クライアントさんは、その誰でもが持つプライドインチャも含めて自分を見つめダメな自分を受け入れ魂の学びに変えて苦しみを受け取っていらっしゃることが大変素晴らしく、

生まれたくなかった意識が、生まれてきたことへの感謝に変わっていくほど残留思念を解消する大きな癒しを遂げられました。

この通常ではとても時間のかかる気づきの変化の後押しとなったこととして、

- ・ホメオパシー相談会との併用でインナーチャイルド癒しのセルフケアでは届かない癒しが速やかに進んだこと
- ・霊的見解をもとに主訴に関わる感情や価値観の特定をしていったことで癒しが進んだこと
- ・症状や感情をありがたいものとして捉えていたこと

が挙げられると思います。

命を全うすべく癒しを深められているクライアントさんには心より敬意と感謝を申し上げます。

壮絶な苦しみの中からも、このように生きていく力に変えておられるクライアントさんのこのケースが、同じ苦しみの中にいる方の何か力になりましたら幸いです。

ケースの発表は以上になります。

最後までご覧いただきまして誠にありがとうございました。

埼玉川越センター松岡真奈美

HP ご予約お問い合わせ先

<https://tuning-therapy.amebaownd.com/>